

平成 28 年 10 月 13 日

## H28 年度 第 27 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会実施報告書

実施日： 平成 28 年 7 月 22 日～23 日

会場： 休暇村志賀島（〒811-0325 福岡県福岡市東区大字勝馬 1803 - 1）

参加者総数： 110 名（学生 88 名、教職員 22 名）

担当校： 九州大学

実行委員長	河邊 佳典	九州大学大学院	上平研究室
学生幹事 代表	小野 章彦	九州大学大学院	上平研究室
庶務	池田 一史	九州大学大学院	上平研究室
	Jane Tonello	九州大学大学院	上平研究室

### 討論会実施内容

会場制の合宿形式で行った。別紙1に示すプログラムに従い、第1日目は、学生企画、特別講演、国際交流企画、ポスター発表事前学習交流会を行った。第2日目はポスター発表を実施したのち、総合討論を行って本会を閉会した。本会の会計報告書を別紙3に記載する。

#### 学生企画 「持てる水 Ooho!」

この企画は、アルギン酸ナトリウムとカルシウムイオンの反応によるイオン架橋を利用して水を膜で包み込み、その結果できた「持てる水」の重量を競う企画である(図1)。大学をまたいで編成された6人程度のグループが、より大きな持てる水を作製するため協力し試行錯誤することで、他大学の学生との親睦を深めることを目的とした。1時間弱という時間の中で各グループが独創的な工夫をすることで、大小様々なサイズの持てる水を作製し、おおいに盛り上がった。プログラムの中で、もっと長い時間をこうした企画に充てても良いのではないかという意見もあった。そのため、企画内容とグループ編成を変更して「学生企画第二部」のようなプログラムを設定することを視野に入れても良いかもしれない。

#### 特別講演

下記の先生方を招待し、大学院生の研究活動や将来設計をエンカレッジするような講演を行ってもらった(図2)。

- ・鹿児島大学 武井孝行先生「化学工学分野において若手研究者に求めること」
- ・東京工業大学 下山裕介先生「九州支部若手の会の出身者として」
- ・九州大学 後藤雅宏先生「化学工学会九州支部若手の会の歴史と九州支部の役割」

やむを得ない事情で後藤雅宏先生の講演は中止になったため、武井孝行先生、下山裕介先生のお二方に講演して頂いた。どちらのご講演でも、今の大学(院)生へのアドバイスを、ご自身の体験を交えながらお話して頂いた。研究生活・就職活動・就職後の働き方すべてに活かせる内容であったので、参加した学生にとってたいへん実用的で勉強となった。

#### 国際交流企画

国際交流企画と題し、九州大学の井藤彰先生に「米国への留学体験記」を、同大学の留学生 Jane Tonello さん(アメリカ)と Arifuzzaman MD さん(バングラデシュ)に「日本と母国の違い(教育・研究・就職)」をご講演頂いた(図 3)。時間の関係で質疑応答セッションでの密な交流は叶わなかったが、他国について知ることによって留学について考えたり、改めて自国のことを見直すための良いきっかけとなった。

#### ポスター発表事前学習交流会

1 日目最後のプログラムとして「ポスター発表事前学習交流会」が行われた。これは、各研究室の代表者が自身の研究室の研究背景や研究内容を発表するものである。懇親会も兼ねていたので食事をしながら終始和やかな雰囲気の中発表が行われた。

#### ポスター発表

7 月 23 日 8:00 からポスターセッションを実施した(奇数番 60 分+偶数番 60 分)(図 4)。学生ポスター発表の審査対象は 86 件であった。参加者全員が審査員となり、教員票は学生票の 3 倍の得点として投票によりポスター審査を実施し、上位 13 名に加え、教員票こそなかったものの学生票の人气が高く受賞に値するとして 2 名の合計 15 名をポスター賞受賞者として選出した(別紙 4)。閉会式にポスター賞受賞式を行い、賞状と副賞(図書券 3,000 円)を授与した。

その後、ポスター賞授賞式、総合討論、会計報告、アンケート調査を行ってから、本会を閉会し、集合写真を撮影して解散とした。次回第 28 回大会は熊本大学 佐々木 満准教授を世話人として開催される予定である。

(別紙1)

## 第27回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 プログラム

### 【第1日目 平成28年7月22日】

13:00-13:30 参加受付

13:30-13:40 開会式

13:40-14:40 学生企画

15:00-16:10 特別講演会

- ・鹿児島大学 武井孝行先生「化学工学分野において若手研究者に求めること」
- ・東京工業大学 下山裕介先生「九州支部若手の会の出身者として」
- ・九州大学 後藤雅宏先生「化学工学会九州支部若手の会の歴史と九州支部の役割」

16:30-17:30 国際交流企画

18:00-19:00 夕食

20:00-22:00 ポスター発表事前学習交流会

### 【第2日目 平成28年7月23日】

08:00-09:00 ポスター発表 (奇数番号)

09:10-10:10 ポスター発表 (偶数番号)

10:40-11:10 総合討論・表彰式・集合写真撮影・閉会式 (2F 大会議場)

(別紙 2 - 1)



図 1 学生企画の様子



図 2 特別講演の様子 (左から武井孝行先生、下山裕介先生)



図 3 国際交流企画の様子 (左から井藤彰先生、Jane Tonello さん、Arifuzzaman MD さん)

(別紙 2 - 2)



図4 ポスター発表の様子



図5 集合写真の様子

(別紙3)

## 第27回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 会計報告

○支出		○収入	
会議室利用代(2室2日分)	46,440	教員参加費(15000円×19名)	285,000
シャトルバス利用代(往復)	4,960	教員参加費(不泊6000円×1名)	6,000
宿泊・食事代	1,319,560	学生参加費(10000円×88名)	880,000
事前学習交流会飲食費	70,154	化学工学会九州支部 学生企画補助	100,000
要旨集印刷・製本料	96,876	化学工学会九州支部 討論会補助	150,000
保険	31,570	石油学会ジュニアソサイアティ	20,000
学生企画費	70,012	協賛企業広告費(14社)	360,000
アルバイト料	105,000	利息	5
要旨発送代	4,020	収入計	1,801,005
講師謝金	45,000		
熊本大学引継ぎ運搬費	7,400		
支出計	1,800,992		

次年度繰越(収入計－支出計)

13

(別紙4)

第27回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 ポスター賞受賞者

No.	氏名	所属	演題
2	永井 杏奈	崇城大学	共役電子系分子で合成したナノ孔結晶
9	岡 篤志	九州大学	CpG をアジュバントとして用いた経皮花粉症免疫療法
11	勝家 睦洋	九州大学	複数の両親媒性ペプチドからなるヘテロ接合型ナノ構造体の創製
12	河野 秀俊	九州大学	Solid-in-Oil 化技術を用いた抗原タンパク質による経皮がんワクチンの創製
13	河野 里穂	九州大学	溶媒抽出法に基づく貴金属の高効率リサイクルプロセスの構築
16	山田 映見	北九州市立大学	ネオジム磁石からのコーティングSIRを用いたNd, Dy, Pr の分離回収
36	北野 温女	北九州市立大学	PDMS を用いた幹細胞培養における細胞特性
50	坂口 智広	鹿児島大学	流動触媒層反応器解析のための CO <sub>2</sub> 化学吸着法の改良
62	新居田 晴香	九州大学	環境応答性 DDS 用カプセルに向けた材料開発
63	金 剛山	九州大学	メチルシクロヘキサン脱水素反応の高性能化
71	高橋 奈央	熊本大学	超臨界流体を用いた海洋系エアロゲルの開発
78	原田 真緒	福岡大学	糖鎖および海洋接着タンパク質を組み合わせた生体模倣コーティング剤の開発
80	西村 亘生	有明工業高等専門学校	電子線グラフト重合にて生成するポリマーブラシの物性評価に関する基礎研究
84	松本 光	九州大学	ゲルモノリス構造のマイクロ-マクロ空間を制御した連続流通式リアクターの開発
85	木村 遥奈	九州大学	肝特異的 ECM 成分可溶化基材を用いた肝機能の発現と組織化に向けた検討